

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいさんキッズ・ぎふ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の各分野に専門スタッフを配置し、総合的な支援を実施していること	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法やその他の個別療育、創作、運動、音楽などの集団活動を実施し、様々な視点から児童の発達にアプローチしている。 ビジョントレーニングなどの専門機器を導入している。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内における学習会の実施や積極的な外部研修の受講を通じて、継続的なサービスの質の向上につなげていく。
2	就労体験、訓練を通じて、卒業後を見据えた早期の働く準備に取り組めること	<ul style="list-style-type: none"> 部品の計数、枠はめ、組み立てなど、同施設内の就労支援事業所と同等の作業を提供している。 児童の特性や能力、ニーズなどに合わせて作業量や時間などを調整している。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童、保護者のニーズを詳細に把握し、作業内容や進め方、環境面などに配慮していくことで、児童一人ひとりに合わせた就労スキルの向上につなげていく。
3	地域や他事業所との交流の機会を積極的に取り入れていること	<ul style="list-style-type: none"> 同法人内の障がい児通所支援事業所、児童養護施設、特別養護老人ホームとの交流を行っている。 施設で開催する祭りや市のイベントなどを通じて、地域交流の機会を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自治体との連携を強化し、様々な形で交流する機会を確保していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童や保護者の利用ニーズに対して十分に応えることができていないこと	<ul style="list-style-type: none"> 利用定員の兼ね合いもあり、すべての利用申し込みに対しての受け入れが難しい状況。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の状況や児童、保護者の意向を踏まえたうえで、相談支援専門員を通じて地域の放課後等デイサービス事業所との併用などについて相談していく。
2	地域の他の子どもとの交流の機会が不足していること	<ul style="list-style-type: none"> 法人内の児童養護施設との交流を行っているが、放課後児童クラブや児童館との交流の機会が提供できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体との連携、調整を行い、地域で暮らす児童との交流を実現させていく。
3	児童が気持ちを落ち着けたり、安心して休憩できる場所が限られていること	<ul style="list-style-type: none"> 利用定員に対してのスペースは確保されているが、十分な構造化等の工夫ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> パーティションやルームテント等を活用することで、カームダウンスペースを確保していく。